

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	教育相談 (Educational Counseling)		
ナンバリングコード	K20108	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年(2018年度以前) 2年(2019年度以降) / 前期
必修・選択区分	教職関係科目(必修) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K001551	クラス名	-
担当教員名	中尾 正彦		
履修上の注意、履修条件	授業には毎回出席することを原則とします。また、教員免許を取得するのに相応しく、授業には積極的・主体的に臨んでください。座席指定をしますが、見え方や聞こえ方などによる変更希望はいつでも受け付けます。 授業中のスマートフォンの使用、私語、居眠り、無断での途中退室など、教員志望に相応しくない行為は厳禁です。また、やむを得ない欠席や遅刻等は事前の連絡をするなど、「報・連・相」を身に付けましょう。		
教科書	「よくわかる教育相談」 春日井敏之・伊藤美奈子編 ミネルヴァ書房		
参考文献及び指定図書	「生徒指導提要」(改訂版) 文部科学省		
関連科目	教育心理学、生徒指導、特別支援教育論、その他教職課程科目		

○基本情報			
授業の目的	○学校における教育相談の特質及び重要性について理解し、具体的な支援が説明できるようになる。 ○教育相談の進め方、必要な基礎的知識を理解し、児童生徒の望ましい成長・発達を援助するための具体的支援法を身につける。 ○よりよい分析(実態把握)や方針(支援法)をめざすために、グループディスカッション等を通して、自らの考えを広げ、深めることができるようになる。		
授業の概要	教育相談の意義と役割について、今日的な学校教育の課題を整理しながら、その教育的対応のあり方及び方向性について講義する。また、児童生徒の発達に関する心理学的知見をもとに、児童生徒の特性を理解し、児童生徒及び保護者の支援についてその内容と方法を具体的に理解する。さらに、教育現場等ですぐに活用できるよう、カウンセリングの基礎的知識・技能を習得できるような授業を行う。 * 毎回課題レポートを出します。提出方法は講義時に指示します。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	中尾正彦 学校現場での教員経験(特に教育相談、生徒指導、特別支援教育コーディネーター)及びスクールカウンセラーの経験を活かし、この授業では、児童生徒の発達に関する心理学的知見をもとに、児童生徒の発達特性を理解し、児童生徒への直接支援はもとより保護者へのコンサルテーションのあり方について、ディスカッションやロールプレイ、グループ活動等を通して専門的知識及び実践的指導力を身につけさせたい。		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	学校現場の諸課題に関心を持ち、教育相談の各授業内容及び課題に主体的に取り組もうとする意欲や態度を修得している。		5点	5点
【知識・理解】	教育相談の進め方、必要な基礎的知識を理解し、児童生徒の望ましい成長・発達を援助する具体的支援法を理解している。	30点		
【技能・表現・コミュニケーション】	カウンセリングの基礎的知識・技能を修得している。グループディスカッションやグループ活動等に主体的に参加することができる。レポート等において適切な文章表現ができる。		10点	10点
【思考・判断・創造】	学校現場及び児童生徒をめぐる諸課題に対して、総合的・分析的等さまざまな観点から考察することができる。	30点	10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
○毎回レポート課題を実施し、評価に加味する。評価基準は以下の通り。 S 授業内容をよく理解し、振り返りながら自分の意見等も述べている。 A 授業内容をよく理解し、振り返ることができる。 B 授業内容をだいたい理解し、振り返ることができる。 C 授業内容を一部理解し、振り返ることができる。 D 授業内容の理解が不十分である。 レポートや課題は次回以降の授業の際に返却する。 ○基本的な用語についての理解度を測る、中間確認としての「小テスト」を実施する(20点分)。評価基準はレポートと同様。	

○その他	
・毎回のレポートには質問や要望、意見等を書く欄を用意しています。遠慮せず書いてください。なお、質問等は授業中ではもとより、メール(nakaomh@nbu.ac.jp)等他の方法でも受け付けています。 ・教員を目指す人を支援するために、期末試験は教員採用試験に出題されるレベルの問題となりますので、そのつもりで履修し、学習を深めてください。	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	教育相談 (Educational Counseling) 中尾 正彦	授業コード	K001551
<b>学修内容</b>				
<b>1. オリエンテーション～教育相談とは何か～</b> ○本授業科目のシラバスを十分に理解する。 ○自身がこれまで受けてきた教育相談を振り返り、教育相談とは何かを考察する。				
予習	教育相談とは何か。生徒指導とは何か。両者の関係性について経験から考察したり、調べたりしておく。			(約2.0h)
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			(約2.0h)
<b>2. 学校における教育相談の特質</b> ○学校における教育相談の特質を理解する。 ○保護者面接の進め方を理解する。 ○担任が行う教育相談の進め方を理解する。				
予習	「生徒指導提要」第5章の該当箇所を読んでおく。			(約2.0h)
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			(約2.0h)
<b>3. 教師に求められる臨床的視点</b> ○ストレスの「行動化」「身体化」について理解する。 ○教師とカウンセラーの共通点と相違点を理解する。 ○カウンセリング・マインドについて理解する。 ○教師に求められる臨床的視点について理解する。				
予習	「よくわかる教育相談」pp.2-21を読んでおく。			(約2.0h)
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			(約2.0h)
<b>4. 子どもの発達課題と教育相談</b> ○カウンセラー(教育相談)の基本姿勢について理解する。 ○学校心理学の「援助サービスモデル」を理解する。 ○乳幼児健診とピアジェの発達段階論の概要を理解する。 ○思春期の子どもへの関わり方について理解する。 ○「故意に自分の健康を害する」症候群について理解する。				
予習	「よくわかる教育相談」pp.22-41を読んでおく。			(約2.0h)
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			(約2.0h)
<b>5. 「問題行動」と教育相談(1)いじめ、暴力問題</b> ○「問題行動」のとらえ方について理解する。 ○いじめの定義、心理と対応について理解する。 ○暴力問題への対応について理解する。				
予習	「よくわかる教育相談」pp.42-45を読んでおく。			(約2.0h)
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			(約2.0h)
<b>6. 「問題行動」と教育相談(2)不登校、児童虐待</b> ○不登校の現状と対応について理解する。 ○児童虐待の現状と対応について理解する。				
予習	「よくわかる教育相談」pp.46-53を読んでおく。			(約2.0h)
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			(約2.0h)
<b>7. カウンセリングの理論と技法(1)精神分析、自己理論</b> ○精神分析の概要について理解する。 ○自己理論の概要について理解する。				
予習	精神分析、自己理論について自分なりにネットや書籍等で調べておく。			(約2.0h)
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			(約2.0h)
<b>8. カウンセリングの理論と技法(2)行動理論、個別面接の基本技能</b> ○行動理論の概要について理解する。 ○個別面接の基本技法について理解する。 ○ロールプレイを通してカウンセリング体験をする。				
予習	行動理論(行動療法)について自分なりにネットや書籍等で調べておく。			(約2.0h)
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			(約2.0h)

○授業計画	科目名 担当教員	教育相談 (Educational Counseling) 中尾 正彦	授業コード	K001551
<b>学修内容</b>				
<b>9. 保護者への支援と教育相談</b> ○保護者との連携及び保護者対応について理解する。 ○発達障害がある児童生徒の保護者支援について理解する。				
予習	「よくわかる教育相談」pp.122-141を読んでおく。			(約2.0h)
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			(約2.0h)
<b>10. 特別支援教育と教育相談</b> ○特別支援教育の対象の概念を理解する。 ○特別支援教育の制度と取り組みについて理解する。 ○主な発達障害について理解する。				
予習	「よくわかる教育相談」pp.62-81を読んでおく。			(約2.0h)
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			(約2.0h)
<b>11. 予防的・開発的教育相談(1)ブリーフ・カウンセリング</b> ○ブリーフ・カウンセリングの中心哲学(3つのルール、4つの発想の前提)を理解する。 ○ブリーフ・カウンセリングの概要(特徴的な質問等)を理解する。				
予習	「よくわかる教育相談」pp.62-81を読んでおく。			(約2.0h)
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			(約2.0h)
<b>12. 予防的・開発的教育相談(2)アサーション・トレーニング、ストレス・マネジメント教育</b> ○アサーションを含む対人関係の3つのスタンスについて理解する。 ○ストレス、コーピングなどのキーワードとともに、ストレス・マネジメント教育について理解する。				
予習	「よくわかる教育相談」pp.88-89及びpp.92-93を読んでおく。			(約2.0h)
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			(約2.0h)
<b>13. 教師支援と校内の教育相談体制</b> ○教師への支援の必要性について理解する。 ○バーンアウトの実態とその対策について理解する。				
予習	「よくわかる教育相談」pp.102-121を読んでおく。			(約2.0h)
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			(約2.0h)
<b>14. 専門機関とのネットワークと教育相談</b> ○校内の教育相談活動について理解する。 ○ネットワーク支援について理解する。				
予習	「よくわかる教育相談」pp.142-161を読んでおく。			(約2.0h)
復習	レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。			(約2.0h)
<b>15. これまでの学修のまとめ</b> ○カウンセリングの技法を習熟する。 ○これまでの学修を振り返り、学んだことを発表したり、まとめたりする。 (○試験や成績等について再確認する。)				
予習	これまでの学修を振り返り、学んだことを整理しておく。			(約2.0h)
復習	これまでの学修を振り返り、学んだことをまとめる。			(約2.0h)
<b>16. 期末試験</b> これまでの授業内容について、総合的な試験を実施します。 試験の概要については、事前に連絡します。				
予習				
復習				